

米国、台湾、EUへ茶の輸出を可能とする病害虫防除体系を開発

背景

二番茶以降は病害虫の発生が多いため、輸出用の栽培が困難でした。

成果の内容

長期残留しない農薬を使って、二番茶以降も主要な輸出先へ輸出できる防除体系を構築しました。

防除体系

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月上	8月下	9月
プルート MC ¹⁾	バロック フロアブル	ミルベノック 乳剤		アグリメック コサイド 3000	カスミン ボルドー	ウララDF スピノースフロアブル フロンスайдSC	アフアーム乳剤 マイトコーネフロアブル アミスター20フロアブル	ガンバ水和剤 ディアナSC

注1) 2年に1回の散布



カンザワハダニ



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ

一番茶・二番茶は3か国ともに輸出可能

	一番茶	二番茶	秋冬番茶
米国	○	○	×
台湾	○	○	○
EU	○	○	×

【研究チームのコメント】

○この防除体系を用いることで、多くの生産者の皆様に、より安定した輸出用茶の栽培に取り組んで頂けることを期待しています。

(八女分場 茶・中山間地作物チーム)

※本研究は国際競争力強化技術開発プロジェクト「二番茶、秋冬番茶の輸出を可能とするIPM体系の開発」(R3~5)により実施しました。